

踏み出そう新たなステージへみんなの力が新渡戸の未来

6月号

令和2年6月1日号



新渡戸記念 中野総合病院 だより

Nitobe Memorial Nakano General Hospital

東京医療

住所 東京都中野区中央四丁目59番16号

TEL 03-3382-1231 (代) 夜間受付 03-3382-9991

ホームページ <http://www.nakanosogo.or.jp> E-mail soumu@nakanosogo.or.jp

第372号

発行人/理事長 入江 徹也

発行責任者/事務局長 横井 悟

子宮頸がんが増えています！

新型コロナウイルスが落ち着いたら、HPVワクチンを接種しましょう

婦人科 部長 舟山 仁

新型コロナウイルス(COVID-19)が流行し、外出・営業の自粛など、さまざま面で不安な日々をお過ごしのことと思います。

婦人科で扱う子宮頸がんは、HPV(ヒトパピローマウイルス)が感染することによって起こるがんです。ウイルス感染とはいっても、新型コロナウイルスと違い、感染から10年程かけて発がんし、長期間無症状のため自分では気づきにくく、適切に検診を受けないと発見できません。最近、医療の発展によりさまざまな部位のがんの罹患率、死亡率は徐々に減少を続けていますが、子宮頸がんは、特に20~30代の若い世代で2000年以降増加しています。子どもを産むことのできる年代に、がんの進行や治療によって子宮を失う不利益が増えているのです。2017年には2871人が子宮頸がんで亡くなっています(633人:2020/5/10現在の新型コロナウイルス死亡者数、1216人:2017年の女性の国内交通事故死亡者数)。

この問題を解決するために開発されたのがHPVワクチンです。2009年から国内での接種が始まり、2011年からは公費助成も始まり、おもに中学生の女子に接種が行われ、2013年からは国の定期接種となりました。この頃は盛んに接種が行われ、1994~1999年生まれの女子は約7割が接種を受けています。しかし、その後、神経症状などさまざまな症状を接種後に訴えるケースが報道され、厚生労働省が積極的接種勧奨を中止しました。これによりHPVワクチンの接種はほとんど行われなくなり、2000

年生まれ以降の世代は接種率がほぼゼロとなっています。

これを受けて安全性の検討が内外でなされています。国内ではワクチン接種との関係が疑われたさまざまな症状が2000人に1人とされましたが、その大部分は回復し、症状が残ったのが20000人に1人と報告されています。また、同様の症状は疼痛などをきっかけとして若年女性に見られることが以前から知られていました。名古屋市において2015年に大規模な調査が行われ、約30000人の解析でワクチンを接種しなかった群と、接種した群で症状の発生率に差がなかったことが報告されています。

一方、国内で接種を受けた世代の予防効果はすでに現れており、HPV感染の予防効果は9割以上、また前がん病変の60~80%の減少がみられています。外国では前がん病変・子宮頸がんの減少は顕著で、HPVが関係する外陰がんや咽頭がんの減少も報告されています。ワクチン接種が最も積極的に行われてきたオーストラリアでは数年以内に子宮頸がんが排除される目処が付き、先進国では2030年代、発展途上国でも今世紀中に頸がん排除の見通しとなっています。

現在、日本だけがこの流れから外れており、将来のある若い世代が感染発がんのリスクに直面しています。幸い定期接種自体は中止されていないため、12~16才のかたは自治体に申請すれば公費助成が現在でも受けられます。新型コロナウイルスの流行が落ち着いたら、ぜひHPVワクチンをお受けください。

新渡戸記念中野総合病院 がん哲学外来休診のお知らせ

がん哲学外来は、当面の間、**休診**とさせていただきます。

ご不便等をおかけして申し訳ございません。

再開につきましては、誌面にてご案内いたしますので、ご了承ください。



当院ホームページ内【新渡戸稲造記念センター がん哲学外来】に、

樋野 興夫センター長による『言葉の**院外**処方箋』が連載されています。ぜひご一読ください。

ホームページ <http://www.nakanosogo.or.jp>

薬のまめ知識

お薬の管理で困っていませんか？

薬剤科長 高松 登



皆さんは、ご自宅に薬がたくさん余っていたり、いつもらった薬なのか、何に効く薬なのか、わからなくなったりして困っていませんか？ 薬には品質を確保するために「使用期限」があります。古い薬を大事に保管しておいても、効果は保証できません。また、不要な薬がお手元にあると、混乱して管理が難しくなります。薬のことで困ったら、かかりつけ薬剤師に相談して不要な薬や期限切れの薬を整理してもらい、安心して薬を使用しましょう。

組合員の皆様へ

東京医療生活協同組合は、機関紙「新渡戸記念中野総合病院だより」を通して私どもの活動を皆様にお知らせして、皆様との交流を図って参りました。このたび、この活動をさらに発展させ、皆様からのご意見を積極的にお聞きして、当生協の運営に役立てることといたしました。

つきましては、当組合に対するご意見、ご要望を郵便、メール、またはFAXにてお送りくださいますようお願いいたします。なお、ご意見をお送りいただきます際には、ご氏名に加えて必ず組合員番号(組合員証に第〇〇〇〇〇号と記載されています)をご記入いただきますようお願いいたします。



宛先

東京医療生活協同組合総務課

住所 〒164-0011 中野区中央4丁目59番16号

メール soumu@nakanosogo.or.jp FAX 03-3381-4799